

取扱説明書 使用前に必ずお読みください。（裏面もお読みください。）

要保存

このたびは、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みいただき、本書に従ってご使用ください。誤ったご使用をされた場合、重大な事故に結びつかれがあります。

このヘルメットは、厚生労働省が定める労働安全衛生法第42条の規則に基づく「保護帽の規格」に適合し製造されたもので、「飛来・落下物用」の型式検定合格品として「労・検」ラベルが貼り付けられています。

この規格は、飛来物または落下物から頭部の安全を確保する最低基準を定めたもので、絶対的な安全性を保証するものではありません。

このヘルメットには、飛来物・落下物の衝撃を吸収するため頭頂部に発泡スチロール（衝撃吸収ライナー）を設置していますが、墜落時保護用としての性能は備わっています。

さらに、本製品は防災用途のヘルメットとして収納性を求めて折りたみ可能な構造としています。ご使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全にご使用ができるように、この取扱説明書に従ってご使用ください。

なお、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

警告、注意の意味（安全上、大切なお知らせ）



警告：守らないと保護帽の性能を損ない、生命または頭部に重大な傷害を及ぼすことを意味します。

- 「飛来・落下物用」を示す「労・検」ラベルが帽体内側に貼り付けてあることを確かめてください。
 - この保護帽は、「飛来・落下物用」以外の使用区分では使用しないでください。
 - 保護帽を被つて原動機付自転車を含むオートバイに乗車することは絶対やめてください。保護帽は乗車用安全帽とは製造、設計、性能など目的と方法が全く異なります。
 - 一度でも大きな衝撃を受けたものは、外観に異常がなくとも性能が低下しているため、使用せず廃棄してください。
 - 保護帽に改造あるいは加工したり、部品を取り除いたりしないでください。保護性能が損なわれます。
 - 保護帽着用では、まっすぐ深くかぶり、あごひもを正しく締めてください。誤った着用をすると事故のとき保護帽が脱げて重大な傷害を受ける可能性があります。
 - 保護帽は、使用環境や時間の経過により外観に変形等の異常が認められなくても、性能の低下が考えられます。使用期間内に交換してください。（防災用用途として、購入後6年以内に交換してください。）
- （注意：防災用とは災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に規定する場所で使用するものではありません。）

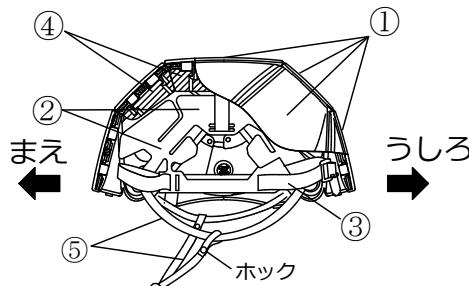


注意：守らないと保護帽の性能や機能に影響を与える頭部に傷害を及ぼすことを意味します。

- ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に固定してください。
- 緊急時、直ちに使用できる様に、事前にヘッドバンドのサイズ調整をしておいてください。また、保管場所を把握しておいてください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン等の有機溶剤は帽体を劣化させるため、保護帽の清掃に使用しないでください。
- 夏季の自動車内や暖房器の近く等の50°Cを超える場所や直射日光の当たる場所に置くと、熱や紫外線により材質が変色したり、変質や変形を起こし、性能が低下します。
- 組み立てや折りたたむ際、帽体の隙間に手や指等を挟まないよう十分注意してください。
- 防災用として使用する場合、日常的に使用する機会がないため、定期的に点検をしてください。
- 本製品は、収納性を求めて設計した折りたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用用途では通常（折りたみ構造でない）の産業用ヘルメットをご使用ください。

1. 保護帽の構造および各部の名称

保護帽は帽体、着装体、あごひも、衝撃吸収ライナー等の部品により構成されています。これらの部品の一部でも性能が低下したり、または不足しますと危険を防止または軽減することができなくなります。



番号	名 称	備 考
①	帽 体	頭部を覆う、硬いかく（般）体。
②	着 装 体	保護帽を頭部に保持し、当りを良くして衝撃を緩和する部品。
③	ヘッドバンド	
④	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール製の衝撃を吸収するための部品。
⑤	あごひも（耳ひも）	保護帽が脱落するのを防止するための部品。

2. 使用区分と機能

Flatmetは、飛来・落下物用として帽体の内側に厚生労働省の「型式検定合格品」を示す「労・検」ラベルが貼られています。「飛来・落下物用」は物体の飛来または落下による危険を防止または軽減するためのものです。

3. 使用前点検

- ①ご使用目的が、飛来・落下物用としての作業内容または防災用であることをご確認ください。
- ②保護帽を「保護帽点検・20のチェックポイント」によって点検して、少しでも異常が認められる場合は使用しないでください。
- ③構成している部品に異常が認められた場合は直ちに交換してください。

4. 着用方法

- ①帽体を「帽体の組み立て方」（裏面参照）を参考に完全に組み立ててください。
- ②帽体の「まえ」「うしろ」を確認して頂き、まっすぐに深く被つてください。
- ③ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に頭に固定してください。（裏面図参照）
- ④あごひもは緩みがないようにあごの下でしっかりと締めてください。（裏面図参照）
- ⑤あごひもに付いているホックで着脱をしないでください。着脱を繰り返すとホックの保持力が低下して本来の保持性能が低下します。

5. 使用に当たっての注意事項

- ①本製品は、収納性を求めて設計した折りたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用用途では通常（折りたみ構造でない）の産業用ヘルメットをご使用ください。
- ②本製品は、帽体を完全に組み立てた状態で頭部にかぶることで、本来の性能を発揮するように設計されています。組み立てが不完全な状態での使用や、頭部に被る以外の使用は重大な事故につながりますので絶対にやめてください。
- ③使用中は、あごひもを緩めたり、はずしたりしないでください。
- ④帽体にものを入れたり、腰かけたりしないでください。
- ⑤ご自身でヘルメットに塗装したりしないでください。
- ⑥ラベル、ステッカー、テープ等を貼付するときはアクリル系の接着剤を使用してください。
- ⑦溶接火花、薬品などによるやけどの恐れがある作業には使用しないでください。
- ⑧着用により皮膚にかぶれやかゆみを生じたら、直ちに使用をやめてください。
- ⑨使用可能な環境温度範囲は、-10°C～+50°Cです。この温度範囲の環境で使用してください。この温度範囲以外の環境で使用しますと、高温による変形をおこしたり、低温による強度の低下をおこします。

6. 保守・保管

- ①帽体の汚れは必ず中性洗剤に浸した布を固く絞って拭きとり、きれいな水で洗剤を除去したのち、布で完全に拭きとてください。
- ②室内の直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。（0°C～+40°C）
- ③本製品は、定期的（6～12ヶ月の間）に組み立てに支障がないか、または各部品に劣化等が生じていないか点検してください。合成樹脂・合成繊維製ですので自然劣化や高温・多湿の環境下で劣化が進むことがあります。

7. 点検（廃棄・交換）

保護帽は帽体、着装体（衝撃吸収ライナー）の全体のバランスによって保護性能を発揮します。衝撃や傷・磨耗、薬品、紫外線、高温や低温などは保護帽の強度を低下させますので、保護性能を確保するために《保護帽点検・20のチェックポイント》に従って日ごろから点検を実施してください。また使用する際にも使用前に必ず点検をしてください。点検によって、少しでも異常が認められるものは使用せず、直ちに新しいものに交換をしてください。

8. 使用期間（耐用期間）

防災用用途として、購入後6年以内には交換をしてください。

（注意：防災用とは災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に規定する場所で使用するものではありません。）

9. 《保護帽点検・20チェックポイント》（このイラストは異常な状態を分かり易くするため誇張して表現しております。）

廃棄基準

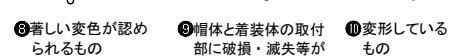
- ①縁に欠損又は
亀裂のあるもの
②衝撃の跡が認め
られるもの
③すりきずが
多いもの
④汚れが著しい
もの



- ⑤メーカーがあげた
以外の穴があいて
いるもの
⑥ガラス繊維が浮き
出しているもの
FRP製
⑦装着体取付部に
亀裂があるもの



- ⑧著しい変色が認め
られるもの
⑨帽体と着装体の取
付部に破損・滅失等が
あるもの
⑩変形している
もの



【衝撃吸収ライナー】

- ⑪熱・溶剤等によ
て変形しているもの
⑫著しく汚れて
いるもの
⑬きず・割れが
著しいもの



【着装体・あごひも】

- ⑭使用者が改造
したもの
⑮環ひもが伸び
又は著しく
汚れているもの
⑯縫い目がほつれ
ているもの

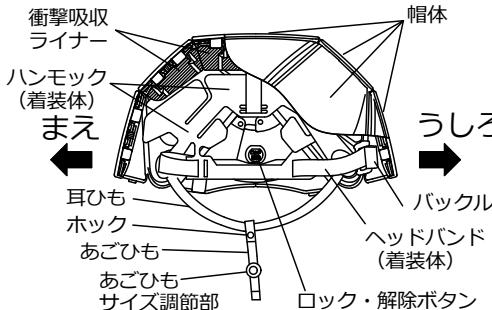


- ⑰ヘッドバンドが
損傷している
もの
⑱汗・油等に
よって著しく
汚れているもの
⑲あごひもが
損傷したり又は
著しく汚
れているもの
⑳ハンモックが
損傷している
もの



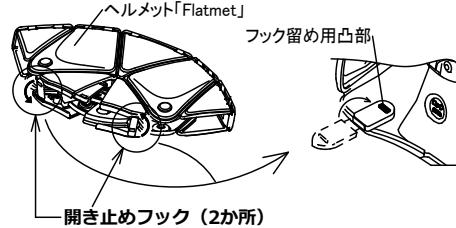
「折りたためるヘルメット」の取り扱い方法

各部の詳細名称

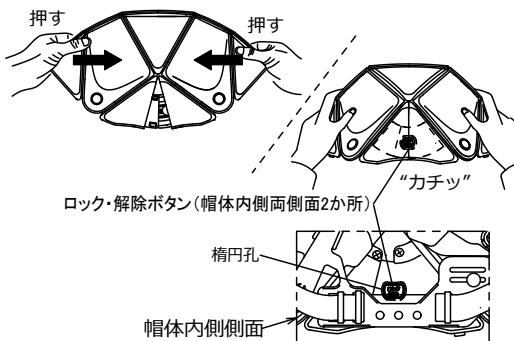


組み立て方

- ① 開き止め用フック（2か所）を外してください。
外したフックをヘルメット内側のフック止め用凸部に留めてください。

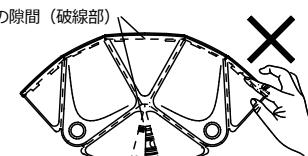


- ② 下図の様にヘルメットを持ち、矢印方向に押すことで帽体内側に有るロック解除ボタンがはまり“カチッ”と音がします。
確認のため「ロック・解除」ボタンが楕円孔から出ているか確認してください。出ていればロックが掛っています。これで組立ては完了です。



注意

組み立ての際、帽体の隙間（下図破線部）に手や指等を挟まないよう十分注意してください。



警告

帽体内側両側面の「ロック・解除」ボタンが確実に掛っていることを確認してください。
ロック・解除ボタンのロックが掛っていない状態で使用すると、ヘルメットの本来の性能が発揮できません。

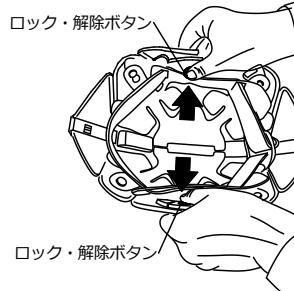
注意

組み立ての際、下図の様に側面を持って外側に広げる動作はしないでください。
側面を持って無理やり広げると部品が破損する場合があります。

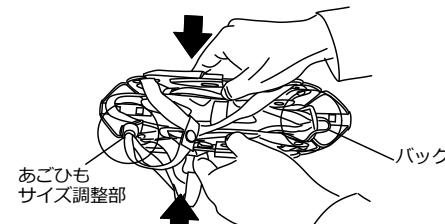


折りたたみ方

- ① ロック・解除ボタン（2か所）を押してロックを解除します。
帽体内側の両側面に有る「ロック・解除」ボタン（下図参照）を同時に矢印の方向に押すとロックが解除できます。



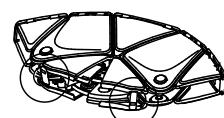
- ② ボタンを押した後、下図の様に、矢印の方向に押して閉じてください。
あごひもサイズ調節部が帽体の中に入らないよう、バックルの反対方向に持って収納してください。



注意

折りたたむ際、帽体の隙間に手や指等を挟まないよう十分注意してください。（注意箇所は組立ての際と同じ）

- ③ 開き止め用フック（2か所）をフック留め用凸部（帽体内側）から外し、帽体ふちの凸部に留めて折りたたみ完成です。



ヘルメット仕様

【材質】

帽体：PP樹脂（中央カバー：ABS樹脂）

ヘッドバンドテープ：合成繊維

ハンモック：P E樹脂

あごひも：合成繊維

衝撃吸収ライナー：発泡スチロール

【ヘッドバンドサイズ調整範囲】

47 ~ 62 cm

【使用温度範囲】

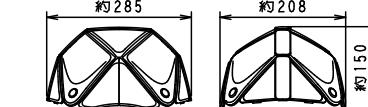
-10 °C ~ +50 °C

【推奨保存温度範囲】

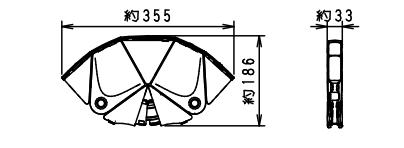
0 °C ~ +40 °C

【帽体概略寸法】

組み立て時



折りたたみ時

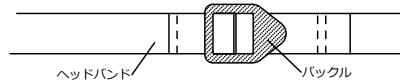


(単位: mm)

ヘッドバンド、あごひもの調整方法 およびポジション調整方法

- ヘッドバンドは、緊急時に備えて、あらかじめサイズ調整をしておいてください。

● ヘッドバンドの各部の名称



● サイズの調整方法

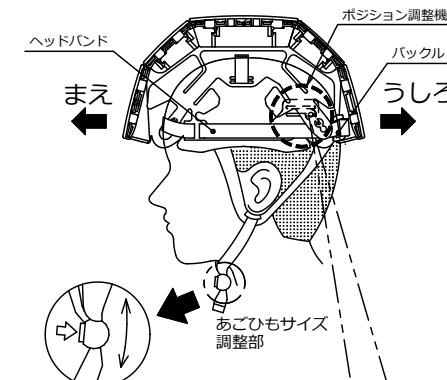
ヘッドバンドのサイズは、バックル部で矢印の方向にバンドを移動させて頭のサイズに調節してください。



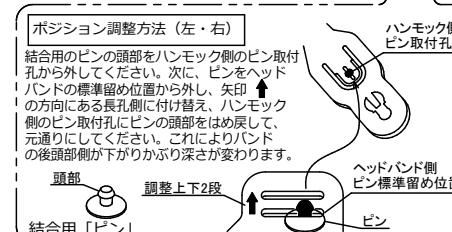
● あごひもの調整方法

あごひもは、下図のあごひもサイズ調節部で調節して、きちんと締めてください。

- ヘッドバンドは下図のポジション調整機構部で、かぶり深さの調整ができるようになっています。
出荷時の位置でヘッドバンドがうまくフィットしない場合は、ヘッドバンドとハンモックを分離し、下記の要領でポジションを調整してください。



- あごひもサイズ調整部の凸部を矢印の方向へ押し、上下に移動させて長さを調整してください。



S CB10-1605RK

注意

防災用に使用する場合、日常的に使用する機会がないため、定期的に点検をしてください。

- 6ヶ月程度の間隔で組み立てて、外観等を点検してください。
■ 本製品は合成樹脂、合成繊維製なので自然劣化します。
■ 高温、多湿の環境下では劣化が進む場合があります。
■ 緊急時、直ちにヘルメットを組立てできる様に、点検の際に組立て方法の確認も行ってください。

注意

緊急時、直ちに使用できる様に、常に保管場所を把握しておいてください。
組み立てる際や折りたたむ際には、帽体のすき間に指を挟まないように十分注意してください。

販売元 株式会社 良品計画

お客様室 ☎ 0120-14-6404

（平日10:00~21:00 土・日・祝日 10:00~18:00）
〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

製造元 ミドリ電機製造株式会社